

目 次 RESEARCH IN EXERCISE EPIDEMIOLOGY VOL.12

巻頭言 世相と運動疫学の役割

内藤 義彦 (武庫川女子大学生生活環境学部)

原 著 大規模疫学研究における簡易自記式身体活動調査票の妥当性と信頼性

—厚生労働省研究班による多目的コホート研究(JPHC Study)より—…………… 1

今井(武田)富士美 (国立がんセンターがん予防・検診研究センター予防研究部) ほか

第 12 回学術集会 (テーマ：ヘルスプロモーションにおけるエヴィデンスと支援)

第 12 回運動疫学研究会学術集会開催報告…………… 11

荒尾 孝 (早稲田大学スポーツ科学学術院)

【特別講演】健康日本 21 の評価と今後の健康増進政策…………… 13

柳川 洋 (自治医科大学名誉教授,
公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター)

【教育講演】ヘルスプロモーションにおけるエヴィデンスとは

—エヴィデンスたる研究手法としての疫学—…………… 15

中村 好一 (自治医科大学公衆衛生学)

【教育講演】ヘルスプロモーションにおける支援とは—成果をあげる手法としての健康支援—…………… 25

馬場園 明 (九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座)

【シンポジウム 1：働き盛り世代における運動習慣の獲得と Workplace Health Promotion の可能性】

働き盛り世代における運動習慣の獲得と Workplace Health Promotion の可能性…………… 27

福田 洋 (順天堂大学医学部総合診療科, 産業保健研究会) ほか

【シンポジウム 2：日本人の運動習慣を改善するための新たな集団的戦略を考える】

日本人の運動習慣を改善するための新たな集団的戦略を考える…………… 28

種田 行男 (中京大学情報理工学部)

地域集団戦略としてのチャレンジデーの意義と成果…………… 29

藤原 直幸 (笹川スポーツ財団) ほか

都市・交通計画分野からの試み—健康と環境の改善を目指すモビリティ・マネジメント—…………… 30

森川 高行 (名古屋大学環境学研究科)

運動行動変容のためのメディアキャンペーン…………… 31

西根 英一 (株式会社マッキャンヘルスケアワールドワイドジャパン)

【一般演題】

地域在住高齢者の身体活動量の実態：太宰府研究…………… 32

野藤 悠 (九州大学大学院人間環境学府) ほか

地域在住高齢者の身体活動量と認知機能の関連性：太宰府研究…………… 34

森山 善彦 (九州大学大学院人間環境学府) ほか

地域在住高齢者の身体活動量とうつ症状との関連性：太宰府研究…………… 36

松尾 恵理 (九州大学大学院人間環境学府) ほか

地域在住高齢者の身体活動量と QOL との関連性：太宰府研究…………… 38

村上 清英 (九州大学健康科学センター) ほか

高齢者の健康保持能力とスポーツ・運動とのかかわり —藤枝市の高齢者を対象にしたアンケート調査より—	40
中屋 拓久 (慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科) ほか	
健診データとレセプトデータを用いた糖尿病の疾病管理に関する研究	42
馬場園 明 (九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座) ほか	
糖尿病患者の血糖コントロール状況とそれに影響する要因：3年間の縦断研究	44
今任 拓也 (福岡大学医学部衛生学) ほか	
サークルドロイングとストレスに関する基礎的研究 (1)	46
藤岡 聡 (九州大学大学院医学系学府医療経営・管理学専攻) ほか	
サークルドロイングとストレスに関する基礎的研究 (2)	47
荒木登茂子 (九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座) ほか	
特定健診における受診勧奨判定基準の検討	48
石原 礼子 (保健医療経営大学保健医療経営学部) ほか	
大規模疫学研究における簡易自記式身体活動調査票の妥当性と信頼性 —厚生労働省研究班による多目的コホート研究(JPHC Study)より—	49
今井(武田)富士美 (国立がんセンターがん予防・検診研究センター予防研究部) ほか	
乳酸閾値強度でのステップ運動が骨代謝に及ぼす影響 —骨量減少状態にある閉経女性におけるニコニコペース運動の効果—	51
柳川 真美 (福岡市健康づくりセンター, 株式会社健康科学研究所) ほか	
ボディートークが気分に及ぼす一過性の影響—大学体育授業における試み—	53
高柳 茂美 (九州大学健康科学センター)	
健康ウォーキングの普及に向けた取り組み—神奈川県津久井の事例—	55
京極 浩 (財団法人かながわ健康財団)	
部位別生体電気インピーダンス分光法 (S-BIS) を用いた簡便で正確なサルコペニアの評価法	57
山田 陽介 (福岡大学身体活動研究所) ほか	
慢性呼吸不全患者に対する全身持久力評価法としての30秒椅子立ち上がりテスト (CS-30) の 有用性に関する検討	59
堀江 淳 (西九州大学リハビリテーション学部, 佐賀大学大学院医学系研究科) ほか	
高齢者における起立性低血圧と立位バランス制御能の関連性について	61
村田 潤 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) ほか	
美容ボランティアの活動実践による心理的健康およびQOLへの影響	63
早川 洋子 (山野美容芸術短期大学) ほか	
小学生を対象とした学校介入による身体活動の改善効果	65
根本 裕太 (早稲田大学スポーツ科学研究科) ほか	
「メタボリックシンドロームとその予備群を対象とした介入プログラム」終了後の体重維持に 及ぼす因子の検討—自己効力感に着目して—	66
頼 建豪 (慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科) ほか	
高齢者の身体活動セルフ・エフィカシーへ影響を及ぼす要因 —フォーカス・グループ・インタビューを用いた予備的検討—	67
前場 康介 (早稲田大学大学院人間科学研究科) ほか	
減量のための資料提供と集団型減量支援に伴う3か月間の体脂肪と内臓脂肪の変化	69
中田 由夫 (筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻) ほか	

中年期地域住民の社会参加と生活習慣との関連	71
金森 悟 (早稲田大学スポーツ科学研究科) ほか	
地域在住中高年者の血清カロテノイドと体力・日常生活活動度に関する横断的検討	72
安藤富士子 (愛知淑徳大学医療福祉学部) ほか	
潜在性慢性炎症と中高年者のサルコペニアに関する横断的検討	74
安藤富士子 (愛知淑徳大学医療福祉学部) ほか	
長期にわたる監視型の運動継続が中高年の体力や健診結果に及ぼす影響	76
裏前 幸美 (日本赤十字社熊本健康管理センター)	
日本人労働者における身体活動量と生活習慣病に関する横断的研究	78
澤田 亨 (東京ガス株式会社安全健康・福利室) ほか	
施設入居高齢者の心理・社会的機能改善プログラムの開発	79
東海林郁子 (早稲田大学スポーツ科学研究科) ほか	
「閉じこもり」高齢者の特性と QOL・首尾一貫感覚との関連性	80
西崎 佳子 (九州大学大学院人間環境学府) ほか	
虚弱・要介護者における生活行為向上を支援する運動プログラム (デイサービス利用者での試み)	82
木村みさか (京都府立医科大学大学院保健看護研究科) ほか	
高齢者の運動習慣と身体・認知・心理機能との関連—前期高齢者と後期高齢者の比較—	83
村田 伸 (西九州大学リハビリテーション学部) ほか	
小学5年生を対象とした食教育介入による食行動・食態度の改善	85
稲山 貴代 (首都大学東京大学院人間健康科学研究科) ほか	
新聞投書欄で語る“健康”を読み解く	87
篠原 圭子 (慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科) ほか	
育児における母親のストレス度とその関連要因の地域比較	89
櫻井聡恵子 (早稲田大学スポーツ科学研究科) ほか	
エクササイズガイドを用いた身体活動量の評価	90
中村 富予 (相愛大学) ほか	
鍼灸医学的診断と心身の健康度の自覚との関連性—経絡テストと CMI を指標にして—	91
本田 泰弘 (福岡天神医療リハビリ専門学校, 久留米大学心理学研究科) ほか	
健康支援ツールの1つである足底挿板の購買意識について	93
光井 信介 (福岡天神医療リハビリ専門学校) ほか	
【第10回運動疫学セミナー開催報告】	94
種田 行男 (中京大学情報理工学部)	
「演習レポート」	
1) 退職前労働者における運動プログラムが運動習慣の継続に及ぼす影響—無作為化比較試験 —“アラカン”第2の青春プロジェクト— (報告者: 後藤 求)	96
指導講師: 中田 由夫 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)	
2) 有料老人ホームにおける昼食時のコミュニケーション活性化が QOL に及ぼす影響 —ランダム化比較試験— (報告者: 天野 恵)	99
指導講師: 北島 義典 (財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所)	
3) 大学生の身体活動量レベルが卒業後の体重増加に及ぼす影響 (報告者: 辻本 健彦)	104
指導講師: 澤田 亨 (東京ガス株式会社安全健康・福利室)	

- 4) 当直医における身体活動量が集中力に及ぼす影響（報告者：桐山菜穂子） 108
 指導講師：種田 行男（中京大学情報理工学部）
- 5) 地域における高齢者の参加と継続を促進させる小学生との
 下校時ウォーキングプログラムの開発と効果検証（報告者：山根 基） 112
 指導講師：種田 行男（中京大学情報理工学部）
- 6) モビリティ・マネジメントを用いた職域における身体活動促進プログラムの
 開発と効果検証（報告者：金森 悟） 116
 指導講師：井上 茂（東京医科大学公衆衛生学）

インフォメーション

- 第 13 回 運動疫学研究会学術集会開催のご案内 119
- 第 11 回 運動疫学セミナーのご案内 120
- 第 12 回 日本健康支援学会年次学術集会大会（第 1 報）のご案内 120
- 運動疫学研究会会員・賛助会員募集のご案内 121
- 運動疫学研究会入会申込書 122
- 「運動疫学研究」投稿規定 123
- INSTRUCTIONS FOR AUTHORS for Research in Exercise Epidemiology 125

編集後記 井上 茂